

専任教員の教育・研究業績

所属 教育学部		職名 准教授		氏名 浜上 洋平		大学院における研究 指導担当資格の有無		有				
Ⅰ 教育活動												
教育実践上の主な業績				年月日（期間）		概		要				
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）												
2025年度 授業評価（体育実技（水泳Ⅰ））				2025年7月22日		「全体として、この授業に満足している。」の設問に対し、94%の学生が「強くそう思う／そう思う」と回答した。						
2025年度 授業評価（保健体育科教育法Ⅳ）				2025年7月22日		「全体として、この授業に満足している。」の設問に対し、96%の学生が「強くそう思う／そう思う」と回答した。						
2 作成した教科書、教材、参考書												
体育科教育学入門（三訂版）第Ⅲ部・第7章「水泳運動〔水泳〕の教材づくり・授業づくり」				2021年4月		保健体育教員志望者、体育科教育学の研究を志向する者のための入門書である。						
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等												
4 その他教育活動上特記すべき事項												
水泳に関する研修（大阪府教育庁による教員研修）				2025年2月17日、25日、3月4日		大阪府に採用予定の方々を対象に、水泳授業のポイント等について講義と実技研修を実施した。						
小学校初任者研修（寝屋川市総合研修センター）				2025年6月19日		寝屋川市に採用された初任の先生方を対象に、水泳授業のポイント等について講義と実技研修を実施した。						
泉佐野市立中央小学校水泳研修				2025年6月16日		泉佐野市立中央小学校の先生方を対象に、水泳授業のポイント等について講義と実技研修を実施した。						
Ⅱ 研究活動												
著書（単著）												
書名		著者		総頁数		発行所		発行地		発行年月		
著書（共著・分担執筆）												
題目／書名		著者／編者		初（始）頁～終頁		発行所		発行地		発行年月		
体育科教育学入門（三訂版）第Ⅲ部・第7章「水泳運動〔水泳〕の教材づくり・授業づくり」		岡出美則、友添秀則、岩田靖		193頁～202頁		大修館書店		東京都		令和3年4月		
原著論文（審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。）												
題名		著者		誌名		巻		初（始）頁～終頁		発行年月		
背浮きの学習による背泳ぎの姿勢改善の効果		浜上洋平		大阪体育大学教育学研究		第5巻		1頁～11頁		令和3年3月		
総説												
題名		著者		誌名		巻		初（始）頁～終頁		発行年月		
その他（「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入）												
区分	題名		著者		誌名		巻		初（始）頁～終頁		発行年月	
実践報告	球技・ゴール型ゲームにおける戦術的なプレイの発生数の差異―バスケットボールとサッカーを比較して―		共	浜上洋平、栗田昇平、河田慈瑛、清水尊之	大阪体育大学教育学研究		第6巻		97頁～104頁		令和4年2月	
学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）												
区分	年月	学会名		演題名		場所		発表者名				
国内（一般演題）	2025年10月	2025年日本水泳・水中運動学会年次大会		パラリンピック競泳選手の受動抵抗に及ぼすストリームライン姿勢の影響―牽引計測による比較―		中京大学		宇津木美都、佐藤大典、植松梓、前川樹、熊崎敏真、浜上洋平				
国内（一般演題）	2025年8月	2025年日本体育・スポーツ・健康学会第75回大会		定時制高等学校の体育授業における協同学習モデルの効果		日本体育大学		五十川利心、浜上洋平、栗田昇平				
国内（一般演題）	2024年10月	2024年日本水泳・水中運動学会年次大会		保健体育科教員の水泳授業に対する意識―水泳授業の外部委託に着目して―		鳴門教育大学		浜上洋平、佐藤大典、草薙健太				
国内（一般演題）	2021年6月	第20回学校水泳研究会		四肢麻痺を有する一般大学生の泳ぎの特徴		オンライン		浜上洋平、水上拓也				
科学研究費等の取得状況												
科学研究費／その他の助成金／外部資金												

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）	
選択			選択			
選択			選択			
特許						
特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
Ⅲ 加入学会および社会における活動						
期 間	内 容					
加入学会						
平成19年4月～現在に至る		日本体育学会、日本スポーツ教育学会、日本体育科教育学会、体育授業研究会				
平成29年4月～現在に至る		日本水泳・水中運動学会				
社会的活動						
Ⅳ 管理活動						
期 間	内 容					
委員会活動						
令和5年4月～現在に至る		学生委員会（大学院 ※令和5年度は委員長）				
令和元年4月～現在に至る		教職課程委員会（全学）、教職課程委員会（教育学部）、教務委員会				
令和3年4月～令和6年度		競技力向上委員会、広報委員会（大学院 ※令和5年度は委員長）				
特別プロジェクト活動						
Ⅴ クラブ活動の指導業績						
1. 指導クラブ名		女子水上競技 部	2. 役職	2021～監督	3. 部員数	19 人
4. 現場指導の頻度		① ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導		年間合宿回数： 回		延べ日数： 日		
6. クラブの競技力向上への取り組み		① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み		① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み		① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名		大 会 名		期 間		場 所
		第101回日本学生選手権		2025. 9. 3-7		東京アクアティクスセンター
		ほか多数				
1 0. クラブ戦績 （全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）						
開 催 期 間		大 会 名		成 績		場 所
2024. 8. 22-9. 7		パリ2024パラリンピック		100m平泳ぎ（SB8）5位		Paris La Defense Arena
2025. 10. 8-9		日本選手権（25m）		100m平泳ぎ6位、50m平泳ぎ8位		東京アクアティクスセンター
Ⅵ 賞罰（職務に関する賞罰）						
年 月	受賞等機関名		内 容		備 考	
2022. 1	大島鎌吉スポーツ功労賞		東京2020パラリンピック100m平泳ぎ（SB8）6位			
2024. 1	大島鎌吉スポーツ功労賞		杭州2022アジアパラ競技大会100m平泳ぎ（SB8）2位 ほか			
2024. 10	優秀賞（2024日本水泳・水中運動学会年次大会 ポスター発表部門）		保健体育科教員の水泳授業に対する意識調査—水泳授業の外部委託に着目して—			
2025. 1	大島鎌吉スポーツ功労賞		パリ2024パラリンピック100m平泳ぎ（SB8）5位			